



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2023/4/23 Rd-3 鈴鹿サーキット

天候：晴 気温：21℃ 出走台数：22台

観客数：22日(土)9,500人 23日(日)16,000人 合計25,500人

2023シーズン第3戦を快晴で迎えた鈴鹿サーキットは、昨日までの強風も止み、絶好の観戦日和の中スタートを迎えた。

決勝を前に午前中に行われたフリー走行。決勝に向けて最後の調整と確認を行う重要なセッションだが、牧野選手はギアボックスのトラブルからわずか5周しか走行することが出来なかった。チームはスタートまでに修復を済ませ、8分間ウォームアップを問題なく走行。牧野選手はスタートに向けて5番グリッドに着こうとしたその時、今度はギアボックスシステムのトラブルが発生し、エンジンが止まってしまった。このことでレースはディレイ。フォーメーションラップが1周追加され30周で行われることに。

牧野選手はピットスタートを切ることができ最後尾でレースに戻ることとなった。

太田選手はスタートで数台をオーバーテイクし、18番手でオープニングラップを周回。

10周目にピットストップウィンドウが開くと、チームはアンダーカットを狙い太田選手をピットに呼びタイヤを交換。順位挽回を目指してペースを上げる。

牧野選手はコースに留まりチャンスを待つ展開だが、15周目を過ぎたあたりから、ペースが落ち始めたため、19周目にピットイン。タイヤ交換を済ませ17番手でコースに復帰した。その翌周20周目に導入されたセーフティカーが23周目にピットインしリスタートが切られると、牧野、太田、両ドライバーは残り8周にわたってライバルとの接近戦を展開。牧野選手は15位。太田選手は17位でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 15位

午前中のフリー走行でギアボックスのトラブルが出てしまい、決勝に向けての確認と調整が出来なかったためレースに向けてやや不安も残る状態でした。決勝に向けてそのトラブルは直っていたのですが、スタートグリッドに着くときに今度は別のシステムトラブルが出てしまいました。幸いにもピットからスタートは切れ、序盤はペースもフィーリングも良く、ただ中盤以降は課題が多く感じました。今回新たなコンセプトで車を仕上げてきたので、レースを完走しデータを得たことで次に繋がるレースにできたと思います。

6：太田格之進 選手 17位

予選で走路外走行によるタイム抹消と、他車への走路妨害として3グリッド降格のペナルティで最後尾からのスタートとなりました。スタートでは3台ほど抜く事が出来、アンダーカットを狙ってミニマムでタイヤ交換をし、ペースも良くマージンを稼いだのですが20周目のセーフティカーの影響が不利に働いしまいました。車も自身も良くなってきていますが、予選で結果を出せないのがすべてです。改善と前進を続けます。